

教科目名 地域日本文学 (Regional Japanese Literature)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
大分県を舞台とした文学作品を読解・鑑賞する。主に、短歌・俳句・随筆・小説を読んでいく。適切な教科書がないので、作品はすべて板書もしくはプリントで提示する。板書筆写用のプリントも配布するので、ノートの準備は不要である。ただし、プリントを綴じるファイルは必ず各自で準備しておくこと。なお、本授業では読解・鑑賞力の養成だけではなく、広く日本語表現力にかかわる教材も適時配布し、表現力の向上も目指す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)	
(1) 風土とかかわりの深い短歌・俳句を読み味い、鑑賞力を養うことができる。(定期試験)			
(2) 短歌・俳句を解釈・鑑賞し、その内容を適切な長さの文章にまとめることができる。(定期試験)			
(3) 豊かな地域の風土を背景にして描かれた作品を正しく読み解くことができる。(定期試験)			
(4) 読み解いた作品の世界を第三者に分かりやすく説明することができる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	県北地区の短歌	○短歌を正しく解釈・鑑賞できる。 ○短歌表現の豊かさを実感できる。 ○自ら表現したい内容を第三者が理解できるようにまとめることができる。 ○基本的な文章表現法にのっとり、説明文を書くことができる。	【理解の度合い】
2	国東地区の短歌		
3	別府地区の短歌		
4	大分地区の短歌		
5	県南地区の短歌		
6	豊肥地区の短歌		
7	久大地区の短歌		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○表現の背後に隠されていることを調べたり想像したりしながら、正しく読解できる。 ○風土の描き方の優れた点を理解できる。 ○優れた随筆や紀行文を読むことによって、自ら随筆や紀行文を書くことができる。	【理解の度合い】
10	随筆, 深田久弥「九重山」「祖母山」		
11	随筆, 瀬戸内寂聴「緑の国東巡礼の旅」		
12	水上勉「外科医の死」「木綿恋い記」		
13	紀行文, 三島由紀夫「日記」		
14	紀行文, 中谷宇吉郎「湯布院行」(1)		
14	紀行文, 中谷宇吉郎「湯布院行」(2)		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
15	前期期末試験の解答と解説		
16	県北地区の俳句	○俳句を正しく解釈・鑑賞できる。 ○俳句の特性を理解できる。 ○大分の風土のすばらしさを味わい、自然観について考えることができる。 ○想像を豊かに膨らませて、鑑賞文を書くことができる。	【理解の度合い】
17	国東地区の俳句		
18	別府地区の俳句		
19	大分地区の俳句		
20	県南地区の俳句		
21	豊肥地区の俳句		
22	久大地区の俳句		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○身近な風土を視点に小説に親しみ、小説のおもしろさを読み解くことができる。 ○情景や人物の心情の優れた表現を理解できる。 ○優れた表現を理解し、自らの表現力を高めることができる。	【理解の度合い】
25	小説, 三浦哲郎「娘と湯の花」		
26	小説, 松本清張「陸行水行」		
27	小説, 高杉良「生命燃ゆ」		
28	小説, 川端康成「波千鳥」		
29	小説, 国木田独歩「源叔父」(1)		
29	小説, 国木田独歩「源叔父」(2)		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
30	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	プリントを綴じる A4 版のファイルを各自で準備しておくこと。 大分県立生涯教育センターの「インターネット講座」も参考にすること。		【総合達成度】
教科書	授業中に配布するプリント		
参考図書	木下是雄, 「理科系の作文技術」, 中央公論社 松本義一, 「大分文学紀行」, アドバンス大分 山田繁伸, 「おおいたの歌碑を歩く」, 大分合同新聞社		
関連科目	現代文, 卒業研究		
総合評価	4回の定期試験で総合評価する。 ただし, 再試験に関しては, 年間の課題も含めて総合評価する。 総合評価が 60 点以上を合格とする。		